

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 食道癌における術前化学療法の効果予測因子の検討

研究の目的

食道癌においては近年、ステージ II,III の標準治療は 3 剤を用いた術前化学療法（NAC）+手術となっています。当科でも従来の 2 剤を用いた術前化学療法から、2021 年より 3 剤による術前化学療法を施行しています。現在は、まだ術前化学療法の効果が得られる患者様の因子や化学療法無効例の診療戦略について一定の見解はありません。術前化学療法の効果が見込める予測因子を検討し、効果不良と予測された群に対する術後治療の提案など、治療成績向上のための治療計画を明らかにし、食道癌治療成績を向上させることを目的としています。

研究実施期間： 実施許可日 ～2029 年 10 月 31 日

対象となる方： 2015 年 1 月 1 日から 2024 年 10 月 1 日までの期間、当院消化器外科を受診し、食道がんと診断された方。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、採血結果、病理結果、手術前に行った治療、再発の有無について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、どの術前治療と生存率について、手術後の治療については間接的に影響する項目として統計解析的手法を用いて比較することで、術後の予後の延長、術前化学療法の効果予測（生存率の向上）に寄与する因子を明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 吉田枝里 電話：0172395079 eyoshida@hirosaki-u.ac.jp
-------	--